

# 神奈川

## 「実現する会」来週にも要望書提出

**横浜ドームを実現する会** 横浜市内の会社経営者らが中心となり、平成13年に発足。横浜ペイスターズ完却による拠点移転への懸念をぬぐい去ることや、市の経済活性化を目指す。発足当時、市にドーム建設を申し入れたが、中田宏前市長の計画凍結で活動を中断。球団完却問題が活発になったため、今年2月に再結成された。横浜に本社を置く企業や大手ゼネコン支店など、200を超える企業が趣旨に賛同している。

構想では、ドーム球場を野球の試合だけでなく、イベントやコンサート会場などの多目的のエンターテインメント施設として使用することを想定。建設地としては、みなとみらい21地区の市有地を考

横浜市にドーム球場建設を目指す市民団体「横浜ドームを実現する会」は来週にも、球場の建設構想などをまとめた建設要望書を、市などに提出する。多目的のドーム球場を地域活性化や防災の拠点とすることを提案する内容となつており、計画実現に向けて一步を踏み出す。同会は具体的な計画について話し合う官民での協議会を、年内にも設立させたい考えだ。

## 「多目的ドーム 横浜に」

えている。

イベント開催のほか、大規模災害の発生時には、避難所や防災拠点として活用。食糧備蓄設備や自家発電施設を設置するほか、環境に配慮して、ソーラーパネルによる太陽光発電を行う「ソーラー発電ドーム」の案も上がっている。

同会の池田典義会長(神奈川県情報サービス産業協会会長)は、「羽田空港の国際化で、横浜も世界からより近くなる。人気歌手がコンサートを開けば、海外から多くの観光客を呼び込むことができる。地元経済も潤い、街の活性化につながる」と意気込む。

課題となる建設費について同会は「会員企業による持ち株会社形式で運営し、市民球場として市民からの出資枠を設ける方法も案としてはある。今後、協議会が発足してから、行政側と話し合っていきたい」としている。

同会によると、会が再結成された際には、横浜市の林文子市長からも、ドーム球場建設計画に賛同する意向が示されたという。

要望書の提出先は、市や県、横浜商工会議所、横浜ペイスターズ、横浜スタジアムなど。同会はすでに要望書の骨子をまとめており、今週中に細部を検討して最終調整を行つところ。

横浜総局  
〒231-0015  
横浜市中区尾上町  
6-87-3  
☎045・681・0921(代)  
FAX 045・224・6856  
yokohama@sankei.co.jp  
広告 03・3275・8662  
購読申し込み  
0120・81・2950  
配達・集金  
0120・34・4646  
紙面・記事  
03・3275・8864